

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月12日			
平成15年度	事業コード	12310	電話	042-769-9230
担当部課名	保健福祉部	地域医療	課	地域医療 係
事務事業名	保健衛生思想啓発普及事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	市民医療の充実	63以前年度
施策名	第1施策	地域医療体制の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

保健衛生思想啓発普及事業補助金交付要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市民の保健・医療に関する知識を深め、救急時の対応法や自らの健康づくりに資するための情報提供を目的とした事業を実施する。	全世帯
	対象数 247,562世帯

(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容

事業内容
1 「健康さがみはら」の発行に対する助成 ・発行及び編集 相模原市医師会 ・配布 新聞折込(及び郵送)で全世帯配布、各医療機関、公民館等へ配布 ・発行月及び部数 年6回(5,7,9,11,1,3月) 1,353,600部
2 「急病のしおり」の発行 ・発行及び編集 相模原市 ・配布及び発行部数 転入世帯へ配布 17,000部

(4)個別計画の概要

概要	
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	健康さがみはら配布状況(%)	発行部数(1回平均)/世帯数×100	各年度末の世帯数との比較による配布状況を指標とする	12	13	14	15	16
				94	92	91		
活動指標	健康さがみはら発行部数(部)	年間発行部数	年間発行部数を指標とする	1,351,200	1,574,300	1,353,600		

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	14,321	13,499	13,915	12,188	24,376
人員・時間数	0.2人/年	0.2人/年	0.2人/年	0.2人/年	0.2人/年
人件費	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
その他経費	0	0	0	0	0
合計	15,921	15,099	15,515	13,788	25,976
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	238,981	243,534	247,562		
対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.1	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	説明		市民への健康づくり等に対する啓発及び情報提供を実施していくうえでの達成度はかなりあると考えている。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
	説明		<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		「健康さがみはら」については、医師会により編集・発行が行われており、専門的な知識の中で、作成されているものであるため、非常に有効的なものであると考えられる。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
	説明		<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
	説明		市で発行している「広報さがみはら」と同様に全世帯配布を実施していることから、公平性は保たれている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明: 医師会以外の医療関係の内容についても、充実を図っていく必要があるため、成果向上の余地はありと考えている。	手段	
<input type="checkbox"/> ない		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	市としても、健康づくりに対する啓発は必須なものであり、市保健医療計画や健康増進法の推進にあたっては、病気にならないための予防等についても情報提供をしていく必要がある。現在、健康づくり等についての情報提供は「健康さがみはら」のみであり、現状は医師会中心の情報提供にとどまっている。今後、歯科医師会や薬剤師会等各医療関係団体の情報も必要と考えられることから、更なる事業拡大を図っていく必要があると考える。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

廃止を含め、助成の見直しについて検討すること。(健康さがみはら)
